

【概要】 JCC 様と研究テーマ：VR（バーチャルリアリティー）の活用について意見交換しました。



【内容】

設備のデザイン、作業性をバーチャルに検証し、やり直しのない設計、製作を実現、設計段階で作業ができるか、機器のメンテナンスができるかを関係部署にバーチャル検証してもらい、指摘された点を修正、実機立会では修正点を確認するのみにできる。

【効果】

立会指摘ゼロの達成、設備製作リードタイムの短縮ができた。

—VR（バーチャルリアリティー）の進化の状況は

JCC：T社、T社グループ会社、商社のI社などで活用が広がっている。（サンプルはこちら↓）

https://video.wixstatic.com/video/5762c2_bc877a45581a45d6a355edb386ae2a09/720p/mp4/file.mp4

—活用の範囲は

JCC：主に設備のデザイン、作業性をヴァーチャルに検証して、やり直しのない設計+製作を実現している。

—今後の展開は：事業拡大やVRの進化は

JCC：人材不足を補うため、スリランカの大学と連携してセミナー開催し、日本に来てもらうように取り組み中（3名）スリランカでは高校から大学への進学は3%＝優秀な人材が多い。JCC社員として3名採用お客様に派遣している。自動車開発のデザインDRをプレゼンし好評だった、開発段階での活用を検討中（T社グループ会社）

進化としては、触った感触をヴァーチャル検証できるように取り組み中。ここまで行けば、バーチャル検証の質が向上する。

EB：なぜ、スリランカなのか？特別な理由があるのですか？

JCC：知り合いを通じてスリランカの大学でセミナーの開催を依頼され、大学生のエンジニアとしてのスキルがあると感じた。国をあげてエンジニアの育成に力を入れている。

—3Dプリンター（ZORTRAX）の活用はどうか？



ポーランドの3DプリンターメーカーZORTRAXの販売代理店をやりつつ、独自の改良を加えて熱の影響を置きやすいABSの成形ができることを特徴にしている。最近の事例では、これを活用してT社グループ会社のシーリング用治具部品の設計製作を受注した。

—その他の新しい取り組みはありますか？

JCC：お客様のニーズでAiロボットの開発に参加している。ここにもお客様の人材不足があり、スリランカのエンジニアを派遣している。

360°カメラの事例を紹介したい、これは工場やオフィスをグーグルマップのように見学できPRに使えるツールです。360°カメラで工場やオフィスで数ヶ所撮影し簡単に作成ができます。

360°カメラ製品紹介はこちら → <https://www.theta360.biz/>

EB：簡単でいいですね、HPでのオフィスイメージや工場を見てもう効果があると思います。カメラを買いたいわけではないのでコンテンツを制作するのにどのくらいかかりますか？

JCC：規模にもよりますが、2日間10万円くらいで制作できると思います。・・・思ったより安い！

—チャットGPTについて

JCC：上手く活用できればエンジニアリングは変わるのではないかと？

EB：まだ実用には時間がかかりそうですが、今後が楽しみです！

JCC：ジャバディモハムド社長様に参加いただきました